

令和2年7月15日
中国電力株式会社

原子力発電所の新規規制基準適合性に係る審査会合（第876回）
島根原子力発電所2号炉に関する指摘内容

<第5条：津波による損傷の防止>

（論点1「防波堤が地震により損傷した場合の運用方針の妥当性，有効性」）

- 1号炉取水槽の漸拡ダクト部の形状保持について，詳細設計段階にて説明すること。

（論点6, 指摘4「漂流物の影響評価の妥当性」）

- 漂流防止装置とする係船柱及び係船環を設置している施設護岸について，海域活断層から想定される地震による津波の評価を詳細設計段階にて説明すること。
- 係船柱及び係船環の位置及び基数について，まとめ資料を適正化した上で説明すること。
- 燃料等輸送船に係留する際の安全余裕の確保の考え方を踏まえ，荷揚場外の係船柱及び係船環の必要性並びに係船索を前後方向それぞれ1本とする妥当性について説明すること。
- 荷揚場作業に伴う車両・資機材について，地震後の車両・資機材の退避までの間に，実効的な漂流物としないための対策を検討すること。

（指摘1「原子炉補機海水ポンプ長尺化に伴う取水性能への影響」）

- 砂の局所的な堆積に対するクリアランス確保への評価結果を説明するとともに，海水ポンプが浮遊砂を吸い込んだ際にも海水ポンプの機能が保持できることを資料上整理すること。

（津波発生時の運用対応について）

- 海域活断層から想定される地震による津波が発生した場合においても，大津波警報発令時は，循環水ポンプを停止する運用であることが分かるようまとめ資料に記載すること。

<第4条：地震による損傷の防止>

(論点Ⅱ-6, 10「機器・配管系への制震装置の適用他」)

- 時刻歴応答解析における不確かさを考慮する ASME の手法について，取水槽ガントリクレーンは非線形時刻歴応答解析を適用することを踏まえて，手法の適用性を詳細設計段階にて説明すること。また，時刻歴応答解析における地盤物性等の不確かさの影響について，詳細設計段階にて説明すること。
- 三軸粘性ダンパを設置した配管系の応答解析手法について，数式上の扱いを含めて計算方法を具体的に示し，詳細設計段階にて説明すること。

(論点Ⅱ-8「規格適用範囲外の動的機能維持評価の実施」)

特になし

以 上